

科目名	カウンセリング入門 (Introduction to Counseling)			科目コード	150
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看①②、臨①
担当教員	石丸 雅貴*				
授業概要	カウンセリングの歴史的背景を踏まえたうえで、解決志向アプローチ(以下、SFA)の概説とグループワーク(演習)を行います。また、医療従事者として、SFAを実生活にどのように役立てることができるか考察する。				
授業目標	医療現場で出会う患者や身近な他者から相談を受けたときに、相談者が自らの解決を見つけ出し、いくように導く対話法(SFA)の基本的な考え方を理解し、技法の習得を目指す。そして、身についたSFAの知識を実生活の中でどう役立てられるか、自ら考えられるようになることを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1	SFAの全体像	①授業の概要や進め方などを理解する。 ②SFA面接DVDを視聴し、大まかな全体像を把握する。 ③小レポート課題を提示する。
2	リソース(資源・資質・能力)	①リソースの探し方を理解する。 ②リソースを2種類(内的リソース・外的リソース)に分類して捉える。 ③リソースの生かし方を考える。
3	例外	①「例外」の考え方を理解する。 ②グループワークで「例外探し」を体験する。 ③成功の責任追及という考え方を紹介する。
4	スケーリング・クエスチョン	①スケーリング・クエスチョンの目的を理解する。 ②グループワークで、スケーリング・クエスチョンを体験する。 ③スケーリング・クエスチョンのコツを考える。
5	関係性の査定と対応	①対人的位置と距離の捉え方を理解する。 ②「クライエントーセラピスト関係」を3タイプに分類して捉える。 ③「クライエントーセラピスト関係」のタイプ別に対応方法を考える。
6	SFAの中心哲学と人間観	①SFAの3つの中心哲学を理解する。 ②SFAがもっている人間観について理解する。 ③最終レポート課題を提示する。
7	SFA面接の活用方法	①短時間でのSFA面接の実施法について紹介する。 ②SFA面接DVDを再視聴し、SFAの理解度を確認する。
8	まとめ	①他のSFA面接DVDを視聴し、SFAの理解を深める。 ②SFAをさらに学びたい人のために、参考図書を紹介する。
成績評価方法	小レポート30%、最終レポート40%、出席カード30%とし、100点満点で換算する。	
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配付する。	
参考図書等	桐田弘江他訳「解決のための面接技法(第4版)」(金剛出版, 2016)	
授業時間外の学習について	授業内容の復習(各回10分程度)、および、授業内容を日常生活で活用してみる。	
関連科目	130心理学、131コミュニケーション論	
備考		